

中池見湿地におけるムツトゲイセキグモ *Ordgarius sexspinosus* と ツクネグモ *Phoroncidia pilula* の採集記録

浅利 裕太*

Records of *Ordgarius sexspinosus* and *Phoroncidia pilula* in Nakaikemi Marsh, Tsuruga City.

Yuta ASARI*

(要旨) 2017年8月21日に中池見湿地において2017年8月21日にムツトゲイセキグモを、同年9月4日にツクネグモを採集した。それぞれ中池見湿地初記録、福井県初記録である。

キーワード：クモ類、コガネグモ科、ヒメグモ科、イセキグモ属、スーピング法

ムツトゲイセキグモ *Ordgarius sexspinosus* はコガネグモ科イセキグモ属に属するクモであり、日本にいる稀産の2種のナゲナワグモ類のうちのひとつである。本属の雌成体は円網を張らず、粘球のついた一本の糸を振り回して獲物を捕らえる投げ縄式の捕獲法によってガを捕食するのに対し、初期の幼体と雄の成体はこのような捕獲法を行わないことが知られている(新海・新海, 2002)。

筆者は2017年8月21日に敦賀市壱曲の中池見湿地でスーピング法にて本種の雄を採集した。中池見湿地における本種の初記録と思われるため下記の通り報告しておく。

ムツトゲイセキグモ *Ordgarius sexspinosus*

福井県敦賀市壱曲中池見湿地

N35° 39' 20", E136° 5' 20"

1♂, 21-VIII-2017, 浅利裕太採集, 同定。

採集した個体はエタノール70%溶液に漬け、液浸標本として中池見人と自然のふれあいの里ビジターセンターに収蔵した。

本種は福井県内での記録は他に二例しかなく、日本海側での採集記録は福井県が最北となっている(新海, 2002)。

雄の背甲は褐色で黒色の斑紋があり、背甲中央付近に2つの突起、背甲後部に4本の突起がそれぞれあるとされている(図2)。腹部上面は暗褐色で黒色や明褐色の斑紋がある。本種の雄はマメイタイセキグモの雄と類似している(小野, 2009)。

今回本種を得たのは、中池見人と自然のふれあい

の里ビジターセンターから300mほど北西に離れた木道沿いの半日蔭に生育しているヒメアオキ *Aucuba japonica* var. *borealis* からであった(図3)。その後も調査したが採集できたのはこの一個体だけである。



図1：ムツトゲイセキグモ *Ordgarius sexspinosus* の雄
(敦賀市中池見, 21-VIII-2017, 浅利裕太撮影)

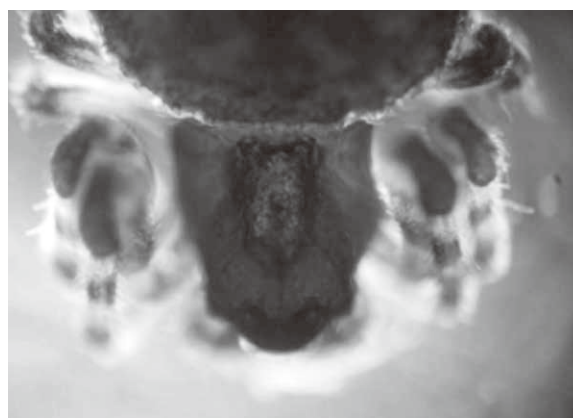


図2：ムツトゲイセキグモ *Ordgarius sexspinosus* の雄の背甲部
(敦賀市中池見, 21-VIII-2017, 浅利裕太撮影)

*NPO法人中池見ねっと 〒914-0005 福井県敦賀市壱曲79号奥堀切

*Nakaikemi Net, Okuhorikiri 79 Kashimagari, Tsuruga, Fukui 914-0005, Japan



図3：ムツトゲイセキグモ*Ordgarius sexspinosus*の採取地

ツクネグモ*Phoroncidia pilula*はクモ目ヒメグモ科ツクネグモ属に属する体長1.5~2.2mmのクモである。眼域の突出と硬化した腹部により、容易に他の種と区別できる。国内では北海道、本州、四国、九州に、海外では韓国、中国に分布し、ツクネグモ属の中では最も普通に見られる種とされているが(小野, 2009)、福井県内では記録がなかった。

筆者は2017年9月4日に敦賀市中池見湿地(檜曲)でスリーピング法にて体長1.7mmの本種の雄を採集したので、県内初記録として下記の通り報告しておく。

ツクネグモ*Phoroncidia pilula*

福井県敦賀市檜曲中池見湿地

N35°39'20", E136°5'20"

1♂, 20-IX-2017, 浅利裕太採集, 浅利裕太同定。



図4：ツクネグモ*Phoroncidia pilula*の雄
(敦賀市中池見, 20-IX-2017, 浅利裕太撮影)

採集した個体はエタノール70%溶液に漬け、液浸標本として中池見人と自然のふれあいの里ビジターセンターに収蔵した。

採集場所はムツトゲイセキグモの採集場所と同所だった。

なお、その後も同所でスリーピング法によって何度か雄を獲ることができているが雌は獲られなかった。

福井県のクモ目については新海ほか(2004)にまとめられているが、まだ、未確認の種が見つかると思われる。今後も調査の継続により、県内のクモ相の解明が必要である。

謝 辞

末筆ながら、に本短報を作成するにあたり、ムツトゲイセキグモの同定方法についてご教授していただいた関西クモ研究会の村上協三氏に心よりお礼申し上げます。今回の発表の場を提供いただきました、福井市自然史博物館 梅村信哉学芸員、出口翔大学芸員にも謹んで感謝の意を表する。

引用文献

- 小野展嗣編著, 2009, 日本産クモ類. 東海大学出版会, 738p.
新海明・谷川明男, 2004, 文献による福井県産クモ類目録. KISHIDAIA, (86), 90-99.
新海明・新海栄一, 2002, ムツトゲイセキグモの生活史および「投げ縄」作成と餌捕獲行動. Acta Aracimologica, 51(2), 149-154.
新海栄一, 2002, クモ 分布重要種・重要地点資料.
<http://spider.art.coocan.jp/asjapan/contents/reddata/pointsp.htm>
(2017年10月9日閲覧)